

2025年度事業計画

【方針】

広島県内の将来有望な事業アイデアを有する起業家等を発掘・育成し、地域経済の活性化に貢献する。

【事業内容】

1. 事業アイデアを有する起業家等に対する助成金の交付

新規性・独創性のある技術やビジネスプラン等を持つ広島県内の将来有望な法人または個人に対して助成を行う。

区 分		概	要
助成対象	一般枠	新規性・独創性のある技術やビジネスプラン等を有しており、事業を中期的に拡大・発展させる意思を持った法人または個人で、募集期間終了時点において以下の要件を全て満たす先 ①法人の場合は、広島県内に主たる事業所（事務所）を置いていること。個人の場合は、広島県内在住であること ②前年度売上高が5億円以下であること（※） ③申請事業が非営利活動を目的としたものでないこと（NPO 法人等の非営利組織など） ④個人にあつては、短期～中期的に法人設立を行い、申請案件をもとに、事業化・事業拡大を図る明確な意思を持っていること （※）申請者が子会社（会社法上）の場合、親会社も上記②の要件に該当すること なお、過去に受賞した先からの同一または類似テーマでの応募は不可とする。	
	学生枠	以下の要件を全て満たす個人またはグループ ①広島県内に在住または在学している学生（大学院生・大学生・短期大学生・高等専門学校生・専門学校生）であること ②新規性・独創性または地域貢献性のあるビジネスアイデアや事業プランを有すること	
助成内容	一般枠	○HIROSHIMA Venture Grand Prix Award	1,000 万円
		○HIROSHIMA Venture Excellence Award	500 万円
		○HIROSHIMA Venture Award	200 万円
	学生枠	○HIROSHIMA Next Venture Grand Prix Award	50 万円
		○HIROSHIMA Next Venture Excellence Award	30 万円
		○HIROSHIMA Next Venture Award	10 万円
助成条件	助成金受領後は起業及び事業化を目指して中小・ベンチャー企業支援機関（団体）の継続的な指導を受けること。但し、学生枠の受賞者は大学等の教育機関の指導も可とする。 受賞後3年間、助成金事務局からのフォローアップを受けること。		
回数募集	年1回（一般枠・学生枠同時募集）		
方募集	公募方式		
方選考	審査委員会において書類審査及び面接審査により選考し、（学生枠は、一般枠の審査とは区別して書類審査及び面接審査により選考）理事会で最終決定する		

※2025年度変更点に下線

2. 起業家と支援者との交流事業

- (1) 助成先の事業化支援並びに県内の創業機運向上を目的とした、「成果報告会」の実施（公益財団法人ひろしま産業振興機構から、一部事業費を負担頂き開催するもの）。
- (2) 他団体が行う商談会や交流会等への参加機会の提供による事業化支援の実施。

3. 起業化・事業化を促進するための普及・支援事業

- (1) 広島県、国立大学法人広島大学、株式会社広島銀行、公益財団法人ひろしま産業振興機構との相互協力協定締結により、人材・資金・情報等を集積し、広島県内において新たな産業・事業者が創出される好循環（イノベーション・エコシステム）の構築を図る。
- (2) 中小・ベンチャー等企業支援機関との連携による起業化・事業化のサポートを行う。

4. その他必要な事業

- (1) 協賛企業等の拡充活動
- (2) 助成事業等のPR活動

【2025年度事業スケジュール】

時期	助成金交付事業		交流事業・その他
	募集・審査・贈呈式	評議員会・理事会	
‘25年4月			企業・団体への協賛依頼（通年） 助成先支援活動（通年）
5月		第1回理事会 （2024年度事業報告・収支決算等）	
6月	第32回助成先募集 （一般枠・学生枠）	定時評議員会 （2024年度事業報告・収支決算等）	
7月			
8月	▼		
9月	助成先選考 （一次書類審査）		
10月	助成先選考 （二次面接審査）	第2回理事会 （助成先の選定等）	
11月	第32回助成金贈呈式		第19回成果報告会（注）
12月			
‘26年1月			
2月			
3月		第3回理事会 （2026年度事業計画・収支予算等）	支援機関と第32回助成先 との交流会

（注）（公財）ひろしま産業振興機構から、一部事業費を負担頂き開催するもの。